

第3章 私たちが目指す札幌市の将来

これまでの札幌市は、人口の増加や市域の広がりなど、量的な拡大を背景に、社会基盤整備を基軸としたまちづくりを進め、身近に感じられる豊かな自然と高度な都市機能が調和した魅力的な都市として、国内外から高い評価を受けてきました。

しかし、今後、人口減少社会の到来や、生産年齢人口の減少に伴う経済規模の縮小が見込まれる中、これまでの右肩上がりの社会構造を前提とした価値観は大きく変わりつつあり、いわゆるパラダイム⁴⁴の転換が求められています。

このような中であって、私たちは、都市の活力と生活の質を高めるとともに、先人が知恵と努力で築き上げてきたこのまちを、次世代に良好な形で引き継いでいかなければなりません。

そのためには、市民・企業・行政などが、それぞれの立場でまちづくりへの役割を果たしていくことが重要であることから、この戦略ビジョンは、「市民計画」として位置付けるとともに、市民と共有するビジョンであることを基本的な考え方としています。

そこで、この章では、私たちそれぞれが、今後のまちづくりに当たって共有できる将来のまちの姿を、目指すべき都市像として以下に掲げます。

■目指すべき都市像

『北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち』

札幌・北海道のさまざまな魅力資源を、一人ひとりの創造性によって、より磨き上げながら、それを国内および世界に発信することで、世界との結び付きを強め、投資や人材を呼び込むなど、世界が憧れ、活力と躍動感にあふれる、心ときめくまちを実現します。

<新たな価値を生み出す創造とチャレンジ>

- 札幌・北海道が持つ豊かな自然や文化と、先人たちがこれまで育んできた北方圏ならではの知識や技術などの貴重な資産に、今後、創造性から湧き出るアイデアによってさらに磨きをかけるとともに、若者をはじめとするさまざまな人々が、先駆的な取り組みにチャレンジできる環境を整えることによって、絶えず新たな価値が生み出されていくまちを目指します。

⁴⁴ 【パラダイム】ある時代や分野において支配的規範となる「物の見方や捉え方」のこと

<札幌型ライフスタイルの確立>

- 芸術の薫り漂う、札幌ならではの個性と楽しさにあふれる都市文化と、うるおいのある豊富な自然環境の中で、創造的に暮らす、世界が憧れる札幌型のライフスタイルを確立し、その魅力を発信します。

<世界に誇る環境首都の実現>

- 先人たちが築き上げた北方圏ならではの都市機能と、北海道の豊富な自然エネルギーを生かしながら、環境負荷の少ない暮らしを追求するなど、低炭素社会と脱原発依存社会を目指した持続可能⁴⁵なまちづくりを進め、世界に誇れる先進的な環境首都を実現します。

『互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち』

誰もが生きがいと誇りを持ちながら、互いにつながり、支え合うことで、生きる喜びと幸せを感じられる、心豊かで笑顔になれるまちを実現します。

<つながりと支え合いのまちづくり>

- 誰もがその能力を十分に発揮し、自らのできる範囲で社会的な役割を果たすとともに、互いの個性や多様性を認め合う寛容さと相互の信頼感の下でつながる共生のまちづくりを進めます。

<道内市町村との連携と魅力創造>

- 「北海道の発展なくして、札幌の発展はない」との考え方の下、私たちは北海道全体の発展を常に意識し、道内の魅力資源と札幌の都市機能を融合させながら、他の都市や地域と手を携え、北海道の魅力をさらに高めます。

<世界の中での都市の共生>

- 国際平和や人権擁護はもとより、環境・エネルギーなどの地球規模の課題への取り組みが求められている中、世界の都市の一員としての責任と役割を果たすことにより、世界と共生していくことを目指します。

⁴⁵ 【持続可能】 人間活動、特に文明の利器を用いた活動が、将来にわたって持続できるかどうかを表す概念。環境問題やエネルギー問題だけでなく経済や社会など人間活動全般に用いられる。